



請求ハガキ	巻末ハガキ
料金	無料
完成時期	5月中旬

「社会連携教育」で「未来を生きる力」を育む。 2026年4月、「情報学部」を開設。

大学GUIDE

「すべての課題は社会にある。教室の中にはない。」

理論と実践を往復させる「社会連携教育」で、
未来の社会で生きる力を育てる。

1884年、横浜山手に創設された「横浜バプテスト神学校」を源流とする歴史と伝統のある大学です。キリスト教精神に基づく「人になれ 奉仕せよ」を校訓とし、豊かな人格と教養、広く世の中に貢献できる学問・知識を身につけて実践していける人材の育成をめざしてきました。2026年には新たに情報学部を開設（設置構想中）し、12学部14学科10コースを擁する総合大学として、更なる発展に向け取り組んでいきます。

大学での学びは、講義室の中だけではありません。身につけた知識を、社会という広いフィールドで他者と協働しながら活用することで、新たな発想や多くの気づきを得ることができます。変化の激しい社会で求められる「自ら課題を発見する力」「情報を整理して解決方法を導く力」、そして「多様な人々と協働できる力」を養うため、企業や自治体、地域などと連携した実践的な学びの環境を整えています。



2026年4月、「情報学部」がスタート

現在、情報通信技術(ICT)、人工知能(AI)、ロボット技術などの急速な進歩により、国内外の労働市場で大きな変革が進行しています。今後10~20年で多くの職業がAIやロボットに置き換え可能になると言われており、2030年には人類史上5番目の社会であるSociety 5.0が到来することが予想されています。我が国では、このようなイノベーションを通じて、社会的な閉塞感を打破し、世代を超えて互いを尊重することができる人間中心の社会の実現が求められています。このような社会の変化に

学部学生数

国際文化学部1,104人	社会学部771人	経済学部1,464人
経営学部1,528人	法学部1,370人	理工学部1,828人
建築・環境学部579人	人間共生学部1,027人	栄養学部405人
教育学部556人	看護学部336人	
全学部合計：10,968人		(2024年5月現在)

■学部・学科組織

- 国際文化学部 国際文化学科※(英語文化コース、グローバル歴史文化コース、多文化協働コース)
 - 社会学部 現代社会学科
 - 法学部 法学科/地域創生学科
 - 経済学部 経済学科
 - 経営学部 経営学科
 - 理工学部 理工学科(生命科学コース、数理・物理コース、応用化学コース、表面工学コース、先進機械コース、電気・電子コース、土木・都市防災コース)
 - 情報学部※ 情報学科(情報工学コース、数理・人工知能コース、情報メディアコース、医療・人間情報学コース)
 - 建築・環境学部 建築・環境学科
 - 人間共生学部 コミュニケーション学科/共生デザイン学科
 - 教育学部 こども発達学科
 - 栄養学部 管理栄養学科
 - 看護学部 看護学科
- ※2026年4月開設予定(構想中)。設置計画は予定であり、内容は変更となる場合があります。

伴い、日本国内では特に「ビッグデータ」や「人工知能」を扱える「データサイエンティスト」の育成が急務とされています。

情報学部では、総合大学の強みを生かした「文理融合カリキュラム」、社会が抱える課題をグループワークで企業と一緒に解決する「社会連携教育」、他大学にはない関東学院大学の特徴的なコースとして「医療・人間情報学コース」の設置、以上3つの特長を持ち、情報学を学べる以下の4コースで今後ますます不足することが予想されるAI・IT関連の人材を育成します。

- 情報工学コース 情報工学の基礎を満遍なく学ぶとともに、主として情報科学、情報工学、ネットワーク工学、情報セキュリティ分野について学びます。実験・実習を通じて課題解決能力を高めます。
- 数理・人工知能コース 知能情報学をベースに数値解析、ゲーム理論、最適化問題、機械学習、データサイエンスも扱います。ロボット制御・IOT・組み込みシステムなどへの応用分野とともに、ハードウェアも扱います。
- 情報メディアコース メディア工学をベースにWebデザイン、映像コンテンツ制作などの関連分野も扱います。主に画像処理、XR、スクリプト系言語、生成AI、リコメンドシステム等の理論、技術を学び、その応用をフィールドワークで実践的に修得します。
- 医療・人間情報学コース 関東学院大学の特徴的な

コースです。健康管理や高齢者介護のためのデジタルヘルスケアやヘルステクニクに関連する技術、リハビリテーション科学、生体データ情報、知覚情報を取り扱い、情報学の観点から医療、生体に関連する分野を扱います。

2026年4月、「国際文化学部」が1学科3コースへ

国際文化学部は2026年度より、従来の2学科(英語文化学科、比較文化学科)を1学科(国際文化学科)に統合し、以下3つのコースを新設します。これまでの「国際文化」の学びをベースに社会と連携して実践的なスキルを磨くことを重視するため、多くの演習系科目を含むカリキュラムになっています。

- 英語文化コース：確かな英語力を軸にグローバル時代の国際感覚を磨きます。
- グローバル歴史文化コース：日本を含む世界の歴史と文化を理解して将来を展望する力を養います。
- 多文化協働コース：多文化社会で他者と協働しながら問題解決する能力を育てます。

50年以上培ってきた「産官学連携」の実績がベースとなった教育プログラムを展開する「表面工学コース」

文部科学省から発表された「令和4年度実績 大学等における産学連携等実施状況について」における「特許権実施等件数」の項目で、関東学院大学は全国の大学で第7位、全国の私立大学では第1位を記録しています。この実績を支える「関東学院大学 材料・表面工学研究所」が母体となるコースが2023年からスタート。金属やガラス、プラスチックなど、材料の「表面」に加工を施し、本来持ちえない新たな機能を加えるのが「表面工学」の技術です。自動車、スマートフォン、半導体、再生医療、ロボットなど様々な分野に応用される「表面工学」の技術者を育成します。

給費生選抜

40年ぶりに復活！関東学院大学の「給費生選抜」

- ・各学科・コースが指定する3科目の学力試験等で可否を判定。選抜方法の詳細は、4月以降に公表予定。
- ・合格者には、入学金と年間授業料を給付。入学後の成績次第で4年間継続可能。
- ・全12学部から選出された成績上位者計100人が対象。
- ・国際学生寮入寮者には、1年目の寮費を半額補助。
- ・「給費生合格」と「一般選抜免除合格」の2種類の合格。
- ・合格発表時に受験科目ごとの自分の得点を確認できるので、実力を測ることができる。

交通アクセス

- 横浜・金沢八景キャンパス (国際文化学部、社会学部、経済学部、理工学部、情報学部、建築・環境学部、人間共生学部(共生デザイン学科)、教育学部、栄養学部、看護学部)
 - 横浜・関内キャンパス (法学部、経営学部、人間共生学部(コミュニケーション学科))
- 京浜急行線・シーサイドライン「金沢八景駅」下車、徒歩約15分またはバス約5分

CAMPUS情報

多様な主体が集い、地域のハブとなる「知の交流」拠点

キリスト教教育を象徴するチャペルをはじめとし、実験・実習施設などを備えたメインキャンパス(横浜・金沢八景キャンパス)、横浜の行政と商業の中心地・関内に新設され、ホールやギャラリー、コワーキングスペースなどを備えた都市型キャンパス(2023年スタート 横浜・関内キャンパス)など、関東学院大学の地域に開かれたキャンパスは、学びや研究活動の場としてはもちろんのこと、学生、地域の人、企業人などが集い、新しい価値を創造する拠点となります。



●横浜・金沢八景キャンパス
(国際文化、社会、経済、理工、情報、建築・環境、人間共生(共生デザイン学科)、教育、栄養、看護学部)



●横浜・関内キャンパス
(法、経営、人間共生(コミュニケーション学科)学部)

●横浜・関内キャンパス (法学部、経営学部、人間共生学部(コミュニケーション学科))
JR線・横浜市営地下鉄線「関内駅」下車、徒歩2分